
整形外科教室 2024 年度業績

講演

A. 講演

1. 高橋雅人：モニタリング脊椎脊髄病研修コース 運動系・感覚系モニタリング各論，一般社団法人日本脊椎脊髄病学会第 22 回脊椎脊髄病研修コース，横浜市，2024 年 4 月 20 日。
2. 竹内拓海：脊椎疾患について - 術後管理を中心に -，杏林大学病棟看護師勉強会，三鷹市，2024 年 5 月 9 日。
3. 稲田成作：フレイルに早く気づき正しく介入するために，第 10 回杏林医学会市民公開フォーラム，三鷹市，2024 年 5 月 18 日。
4. Hosogane N: Surgical strategy for adult spinal deformity. Ethnic difference of surgical treatment for adult spinal deformity. 97th Annual Meeting of JOA. Invited Lecture. Fukuoka. May 24th, 2024.
5. 細金直文：成人脊柱変形の治療戦略 - 骨粗鬆症椎体骨折も含めて -，第 26 回関西脊椎グループ研究会，守口市，2024 年 6 月 1 日。
6. 高橋雅人：ハイリスク脊椎脊髄手術における脊髄モニタリング，知っておきたい、整形外科疾患の最新の話題 Web Seminar，武蔵野市・オンライン，2024 年 6 月 12 日。
7. 竹内拓海：当院における骨粗鬆症治療戦略 - DEPS 法の基礎から応用 -，帝人ヘルスケア社内講演会，三鷹市，2024 年 6 月 13 日。
8. 細金直文：脊椎外傷と医学的基礎知識，後遺障害担当者 2 年目第 1 次研修医学講演会，東京，2024 年 6 月 14 日。
9. 竹内拓海：胸髄腫瘍摘出後早期に後弯を生じた一例，Asahi Spine Forum，東京，2024 年 6 月 20 日。
10. 細金直文：脊椎難治性疾患（脊柱変形・骨粗鬆症性椎体骨折）に対する当院の取り組み，Meet the Specialist，立川市，2024 年 7 月 2 日。
11. 稲田成作：当院における骨粗鬆症治療戦略，帝人ヘルスケア社内研修会，三鷹市，2024 年 7 月 18 日。
12. 稲田成作：骨形成促進薬の相違点，TEIJIN 山梨骨・関節セミナー，中巨摩郡，2024 年 7 月 25 日。
13. 佐藤行紀：変形性膝関節症を防ぐ診断と治療～半月板・人体損傷を中心に～，ジクトルテープ 75mg 発売 3 周年記念講演会 in 三鷹，調布市，2024 年 8 月 1 日。

14. 森井健司：骨軟部腫瘍をめぐる冒険 - 患者さんとともに、患者さんのために - . 弘前大学夏の研修会 (第 33 回). 弘前市. 2024 年 8 月 2 日.
15. 高橋雅人：モニタリング電位の起源. 日本臨床神経生理学会第 11 回術中脳脊髄モニタリングセミナー. 枚方市, 守口市. 2024 年 8 月 18 日.
16. 竹内拓海：Saccura PPS を用いた DISH に対する DEPS 法 - 基礎研究による検証 - . Saccura Summer Seminar セミナー. 東京. 2024 年 8 月 24 日.
17. 細金直文：成人脊柱変形の治療戦略. 第 4 回 Johoku Spine Surgery update Seminar. 東京. 2024 年 9 月 4 日.
18. 竹内拓海：神経障害性疼痛を来す腰椎疾患. 第一三共社内講演会. 三鷹市. 2024 年 9 月 26 日.
19. 森井健司：がん治療医が実践する緩和ケアと疼痛がん治療. がん治療に携わるあなたへ～緩和ケアと疼痛治療のすゝめ～. オンライン. 2024 年 10 月 1 日.
20. 山岸賢一郎：始める、続ける骨粗鬆症治療～二次性骨折予防管理料の算定と骨粗鬆症治療連携～. 東大和市医師会学術講演会. 東大和市. 2024 年 10 月 4 日.
21. 高橋雅人：医療安全管理. 令和 6 年度第 2 回リスクマネジメント講習会. 三鷹市. 2024 年 10 月 9 日.
22. 竹内拓海：骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略 - SEPS/DEPS 法はどこまで有用か? - . 第 31 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会学術集会. 宇都宮市. 2024 年 10 月 12 日.
23. 竹内拓海：高齢者への脊椎固定術の工夫 - 合併症を減らすために - . 第 59 回脊髄障害医学会ランチョンセミナー. 名護市. 2024 年 11 月 8 日.
24. 細金直文：腰椎変性疾患の治療 薬物治療から手術治療まで. 慢性疼痛診療 Web 講演会. オンライン. 2024 年 11 月 21 日.
25. 森井健司：高齢者の骨軟部腫瘍 - 日々の診療から学んだこと - . 第 17 回金沢骨軟部腫瘍セミナー. 金沢市. 2024 年 11 月 30 日.
26. 細金直文：側弯・腰曲がりと神経障害性疼痛の診断と治療. 北多摩南部医療圏 整形外科疾患 web セミナー～健康寿命の延伸と QOL 向上を目指して～. オンライン. 2024 年 12 月 10 日.
27. 細金直文：成人脊柱変形の治療戦略. 第 57 回日本臨床整形外科学会関東ブロック研修会. 東京. 2025 年 1 月 25 日.
28. 竹内拓海：Double Endplates Penetrating Screw (DEPS)法の knacks and pitfalls. Stryker 社内セミナー. 東京. 2025 年 2 月 8 日.
29. 坂倉健吾：当院整形外科教室における各班の診療体制に関して. 第 12 回多摩地域の整形外科疾患を考える会. 三鷹市. 2025 年 2 月 19 日.

30. 佐藤行紀：当院での人工膝関節置換術. 第 12 回多摩地域の整形外科疾患を考える会. 三鷹市. 2025 年 2 月 19 日.
31. 細金直文：脊椎由来の神経障害性疼痛 - 診断から治療までの実践ガイド -. 西多摩整形外科医会講演会. 立川市・オンライン. 2025 年 2 月 27 日.
32. 細金直文：腰椎疾患の診断・治療. 第一三共社内講演会. 三鷹市. 2025 年 3 月 26 日.

B. 国際学会

1. Osman WS, Özden VE, Younis AS, Abdel A, Sener N, Morii T, Pator JM, Martson A, Mathis K: What percentage of patients are dissatisfied post-primary total hip and total knee arthroplasty? World Expert in Joint Arthroplasty. Istanbul. Republic of Türkiye. August. 28th. 2024.
2. Morii T, Ogura K, Sato K, Kawai A. Incidence and risk of surgical site infection/periprosthetic joint infection in tumor endoprosthesis—data from the nationwide bone tumor registry in Japan. 22nd International Society of Limb Salvage General Meeting 2024. Brisbane, Australia. October. 7th. 2024.
3. Morii T, Ogura K, Sato K, Kawai A. A survey research on the prevention/treatment strategy for surgical site infection/periprosthetic joint infection in megaprosthesis among orthopedic oncology specialists in Japan. 22nd International Society of Limb Salvage General Meeting 2024. Brisbane, Australia. October. 7th. 2024.
4. Hirozane T, Yamada T, Tajima T, Morii T, Hosogane N: IMMUNOHISTOCHEMICAL ANALYSIS OF NUCLEAR β -CATENIN IN BONE AND SOFT TISSUE TUMOR MICROARRAYS. Connective Tissue Oncology Society (CTOS). USA. November 13th -16th. 2024.

C. 国内学会

1. 高橋雅人, 後迫宏紀, 和田簡一郎, 船場真裕, 田所伸朗, 中西一義, 重松英樹, 岩崎博, 谷口愼一郎, 安藤宗治, 川端茂徳, 今釜史郎, 松山幸弘, 吉田剛, 竹下克志：脊髄モニタリング偽陰性の特徴と要因 - JSSR 脊髄モニタリング委員会 9,572 例の解析 -. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 18 日.
2. 竹内拓海, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 宮本梓, 細金直文：成人脊柱変形術後ロッド折損へのクロスリンクの影響. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 18 日.
3. 諸井威彦, 佐野秀仁, 小西一斉, 五十嵐一峰, 大木紫, 市村正一, 細金直文：タブレット PC を用いた頸髄症に対する新たな上肢運動機能評価. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 18 日.

4. 竹内拓海, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 宮本梓, 細金直文: 成人脊柱変形術後患者の初回歩行開始時期に対するフレイルの影響. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
5. 竹内拓海, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 細金直文: 有限要素法を用いた Double endplates penetrating screw(DEPS)法の理想的な軌道の検証. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
6. 小西一斉, 竹内拓海, 諸井威彦, 佐野秀仁, 高橋雅人, 細金直文: 癌予後予測因子は脊椎インストゥルメンテーション手術における手術部位感染の予測に有用か?. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
7. 川野洋介, 山岸賢一郎, 細金直文: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP 施行後の長期成績. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
8. 長谷川淳, 佐野秀仁, 陣内快史, 川野洋介, 諸井威彦, 辻将明, 小西一斉, 佐藤俊輔, 竹内拓海, 五十嵐一峰, 高橋雅人, 長谷川雅一, 山岸賢一郎, 佐々木茂, 市村正一, 細金直文: 90 歳以上の超高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
9. 山岸賢一郎, 川野洋介: 骨粗鬆症性椎体骨折に対して, 経椎弓根的にリン酸カルシウムペーストを椎体・椎体間充填した前方支柱再建の有用性. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
10. 有馬秀幸, 相澤俊峰, 池上章太, 石井賢, 井上玄, 今釜史郎, 上田明希, 大鳥精司, 新村千絵, 中川幸洋, 中島宏彰, 藤田順之, 藤田卓仙, 細金直文, 八木満, 山田浩司, 吉井俊貴, 渡邊慶, 種市洋, 筑田博隆, 中村雅也, 松山幸弘, 波呂浩孝, 金村徳相: JSSR-DB 年次報告 脊椎脊髄手術の疫学調査 (2022 年度). 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
11. 井上玄, 村上栄一, 黒澤大輔, 小谷善久, 二階堂琢也, 若尾典充, 細金直文, 金村徳相: 仙腸関節固定デバイス適正使用基準から見た仙腸関節障害の病態・診断・治療. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
12. 吉井俊貴, 石井賢, 三原久範, 國府田正雄, 岩崎幹希, 根尾昌志, 細金直文, 金村徳相: 人工椎間板置換術 2 椎間使用の市販後調査. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
13. 有馬秀幸, 相澤俊峰, 池上章太, 石井賢, 井上玄, 今釜史郎, 上田明希, 大鳥精司, 新村千絵, 中川幸洋, 中島宏彰, 藤田順之, 藤田卓仙, 細金直文, 八木満, 山田浩司, 吉井俊貴, 渡邊慶, 種市洋, 筑田博隆, 中村雅也, 松山幸弘, 波呂浩孝, 金村徳相: 日本脊椎脊髄病学会データベース (JSSR-DB) の現状と将来への展望. 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
14. 橋本淳, 川端茂徳, 吉田剛, 後迫宏紀, 安藤宗治, 和田簡一郎, 重松英樹, 岩崎博, 高橋雅人, 田所伸朗, 中西一義, 今釜史郎, 松山幸弘, 吉井俊貴, 竹下克志: 頸椎後縦靱帯骨化症

手術における自発筋電図の発生率と発生タイミングの調査 - 前向き多施設研究 - . 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.

15. 吉田剛, 後迫宏紀, 今釜史郎, 中島宏彰, 川端茂徳, 安藤宗治, 谷口慎一郎, 重松英樹, 山田圭, 岩崎博, 和田簡一郎, 高橋雅人, 船場真裕, 田所伸朗, 黒須健太, 松山幸弘: 後縦靱帯骨化症に対する術中脊髄モニタリング成績の経年的変化 - JSSR 脊椎モニタリング委員会多施設前向き研究 - . 第 53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 横浜市. 2024 年 4 月 19 日.
16. 渡邊隼人, 佐藤行紀, 細金直文: 内側開大式脛骨粗面下骨切り術と内側開大式高位脛骨骨切り術における膝蓋大腿関節の検討. 第 3 回日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会. 高松市. 2024 年 4 月 19 日.
17. 森井健司, 田島崇, 弘實透, 細金直文, 近江圭祐: AYA 世代肉腫患者の診断告知時における緩和的介入目標の抽出 - つらさの質問票による解析. 第 6 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会. 東京. 2024 年 5 月 11 日.
18. 小西一斉, 佐野秀仁, 諸井威彦, 竹内拓海, 高橋雅人, 細金直文: 癌予後予測因子である栄養・免疫・炎症マーカーは脊椎インストゥルメンテーション手術における手術部位感染の予測に有用か. 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 23 日.
19. 弘實透, 山田哲司, 田島崇, 森井健司, 細金直文: 組織マイクロアレイを用いた骨・軟部腫瘍における Wnt シグナル活性の評価. 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 23 日.
20. 出村諭, 渡辺慶, 小谷俊明, 松村昭, 大和雄, 有馬秀幸, 竹内拓海, 高橋真治, 谷口優樹, 土肥透, 関庄二, 朝田智之, 大場悠己, 菅原亮, 竹下克志, 上田明希, 鈴木悟士, 細金直文: 脊柱変形治療の現状と未来展望 - 小児脊柱変形に対する装具治療の現状と未来 日本側彎症学会レジストリー・アウトカム委員会からの報告. 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 24 日.
21. 森井健司, 田島崇, 弘實透, 小西一斉, 細金直文: 感染の診断に難渋した骨・軟部腫瘍手術部位感染. 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 25 日.
22. 森井健司, 佐藤健二, 小倉浩一, 細金直文, 川井章: 下肢悪性骨・軟部腫瘍手術における感染の下肢機能への影響 - 全国骨・軟部腫瘍登録を用いた傾向スコアマッチング - . 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 25 日.
23. 菅原亮, 出村諭, 小谷俊明, 朝田智之, 松村昭, 渡辺慶, 高橋真治, 大和雄, 関庄二, 細金直文: 思春期特発性側彎症に対する装具治療の心理・QOL 評価. 第 97 回日本整形外科学会学術総会. 福岡市. 2024 年 5 月 25 日.
24. 川野洋介, 小西一斉, 久木元光, 諸井威彦, 竹内拓海, 高橋雅人, 日比谷孝志, 駒形嘉紀, 細金直文: SLE の治療中に生じた頸椎腫瘍の一例. 第 73 回多摩リウマチ研究会. 武蔵野市. 2024 年 6 月 22 日.
25. 竹内拓海, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 細金直文: 有限要素法を用いた Double endplates penetrating screw (DEPS) 法の理想的な軌道の検証

- Short DEPS (S-DEPS)の有用性 - . 第 14 回最小侵襲脊椎治療学会. 倉敷市. 2024 年 6 月 28 日.

26. 竹内拓海, 山岸賢一郎, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 細金直文: 有限要素法を用いた Groove entry technique - Double endplates penetrating screw (GET-DEPS) 法の固定力の検証. 第 14 回最小侵襲脊椎治療学会. 倉敷市. 2024 年 6 月 28 日.
27. 井上玄, 村上栄一, 黒澤大輔, 小谷善久, 二階堂琢也, 若尾典充, 細金直文, 金村徳相: 本邦における SIJ 適正使用基準の確立と今後の展望 - 仙腸関節固定デバイスの安全な普及のために. 第 14 回最小侵襲脊椎治療学会. 倉敷市. 2024 年 6 月 29 日.
28. 道廣岳, 稲田成作, 阿部幹, 渡邊知宏, 西野雅人, 佐藤俊輔, 鈴木啓司, 大畑徹也, 丸野秀人, 長谷川雅一, 細金直文: 大腿骨転子部骨折手術治療時のラグスクリュー挿入トルクは術後早期の歩行能力に影響する. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 28 日.
29. 大畑徹也, 丸野秀人, 稲田成作, 小谷明弘, 市村正一, 細金直文: 後屈 15 度以上転位した大腿骨頸部骨折に対する観血的整復術と人工骨頭置換術における機能予後の比較. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 28 日.
30. 根田知明, 稲田成作, 長慎太郎, 松隈卓徳, 安部学, 細金直文: 高齢者の橈骨遠位端開放粉碎骨折に対して distraction plate を使用した 1 症例. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 28 日.
31. 稲田成作, 大畑徹也, 西野雅人, 加藤聡一郎, 細金直文, 山口芳裕: L5 横突起骨折の存在は大量輸血を必要とする不安定型骨盤輪骨折患者の予測に有用か. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 29 日.
32. 西野雅人, 稲田成作, 道廣岳, 大畑徹也, 丸野秀人, 細金直文: 大腿骨近位部骨折患者に対するロモソズマブとビスホスホネート製剤の治療成績比較. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 29 日.
33. 渡邊知宏, 西野雅人, 稲田成作, 細金直文: 外弯変形を有する非定型大腿骨骨折に対する髓内釘挿入の工夫. 第 50 回日本骨折治療学会. 仙台市. 2024 年 6 月 29 日.
34. 宇高徹, 田島崇, 森井健司, 小菅みず穂, 大塚弘毅, 細金直文: 肺腺癌骨転移に対する凍結療法および凍結化学療法 of 検討. 第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会. 福井市. 2024 年 7 月 11 日.
35. 森井健司, 佐藤健二, 小倉浩一, 川井章: 腫瘍型人工関節の感染対策 - 骨・軟部腫瘍専門医に対する実態調査からみた課題 - . 第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会. 福井市. 2024 年 7 月 12 日.
36. 弘實透, 田島崇, 小西一斉, 森井健司, 細金直文: 乳がん骨転移患者に対する多職種集学的介入の有効性の検討. 第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会. 福井市. 2024 年 7 月 12 日.

37. 田島崇, 森井健司, 弘實透, 細金直文: 骨・軟部腫瘍初期診療における可溶性 IL-2 レセプター値の臨床的意義. 第 57 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会. 福井市. 2024 年 7 月 12 日.
38. 田島崇, 森井健司, 弘實透, 稲田成作, 細金直文: 悪性骨軟部腫瘍手術後晩期感染に対する CLAP (Continuous Local Antibiotics Perfusion) の使用経験. 第 47 回日本骨・関節感染症学会. 出雲市. 2024 年 7 月 27 日.
39. 小西一斉, 竹内拓海, 川野洋介, 諸井威彦, 佐野秀仁, 高橋雅人, 細金直文: 癌予後予測因子である栄養・免疫・炎症マーカーは脊椎インストゥルメンテーション手術における手術部位感染の予測に有用か?. 第 47 回日本骨・関節感染症学会. 出雲市. 2024 年 7 月 27 日.
40. 川野洋介, 渡邊泰伸, 諸井威彦, 小西一斉, 竹内拓海, 佐野秀仁, 高橋雅人, 河野仁, 長谷川雅一, 谷戸祥之, 細金直文: 除圧術追加による腰椎後方椎体間固定術(PLIF)後の上位隣接椎間障害への影響 - 傾向スコアマッチング法を用いた検討 -. 第 12 回 JASA. 金沢市. 2024 年 8 月 4 日.
41. 竹内拓海, 諸井威彦, 川野洋介, 小西一斉, 高橋雅人, 細金直文: 脊柱変形を伴った腰部脊柱管狭窄症の手術加療 - 私はまずは除圧派です -. 第 33 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 札幌市. 2024 年 9 月 20 日.
42. 竹内拓海, 諸井威彦, 川野洋介, 小西一斉, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 細金直文: 成人脊柱変形術後ロッド折損へのクロスリンクの影響 - クロスリンクはロッド折損リスクとなるか? -. 第 33 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 札幌市. 2024 年 9 月 21 日.
43. 竹内拓海, 高見澤悠平, 陣内快史, 川野洋介, 諸井威彦, 小西一斉, 高橋雅人, 長瀬美樹, 細金直文: 解剖体脊椎を用いた SEPS/DEPS 法と従来法の固定強度の比較 - DEPS 法に最適なスクリー形状は? -. 第 33 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 札幌市. 2024 年 9 月 21 日.
44. 鶴狩育巳, 佐藤行紀, 渡邊隼人, 細金直文: 大腿骨骨幹部骨折変形治癒後外傷性膝関節症に対し膝周囲骨切り術を施行した 5 症例. 第 73 回東日本整形災害外科学会, 箱根町, 2024 年 9 月 28 日.
45. 安部一平, 井上功三朗, 森脇孝博, 小寺正純, 細金直文: Tapered wedge stem を用いた初回 THA での cortical hypertrophy に関する検討. 第 73 回東日本整形災害外科学会, 箱根町, 2024 年 9 月 28 日.
46. 橘安津子, 河野仁, 中道清広, 渡邊泰伸, 片岡嗣和, 宮本梓, 竹内拓海, 細金直文: 脊椎後方固定術後の近位隣接椎間障害予防の工夫 - 有限要素法を用いた肋骨フックの有用性の検証 -. 第 31 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会学術集会. 宇都宮市. 2024 年 10 月 11 日.
47. 竹内拓海, 高見澤悠平, 陣内快史, 川野洋介, 諸井威彦, 小西一斉, 高橋雅人, 長瀬美樹, 細金直文: 解剖体脊椎を用いた SEPS/DEPS 法と従来法の固定強度の比較 - 最適なスクリー形状の検討 -. 第 31 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会学術集会. 宇都宮市. 2024 年 10 月 11 日.

48. 竹内拓海, 諸井威彦, 小西一斉, 佐野秀仁, 高橋雅人, 高見澤悠平, 河野仁, 細金直文: 有限要素法を用いた Double endplates penetrating screw (DEPS) 法の理想的な軌道の検証 - Straight and Short DEPS (S-DEPS)の有用性 -. 第 31 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会学術集会. 宇都宮市. 2024 年 10 月 11 日.
49. 長谷川淳, 佐野秀仁, 陣内快史, 川野洋介, 諸井威彦, 辻将明, 小西一斉, 佐藤俊輔, 竹内拓海, 五十嵐一峰, 高橋雅人, 長谷川雅一, 山岸賢一郎, 佐々木茂, 市村正一, 細金直文: 90 歳以上の超高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP. 第 26 回日本骨粗鬆症学会. 金沢市. 2024 年 10 月 11 日.
50. 稲田成作, 西野雅人, 大畑徹也, 山岸賢一郎, 星亨, 細金直文: 2 型糖尿病患者における大動脈弓石灰化と骨密度の関係. 第 26 回日本骨粗鬆症学会. 金沢市. 2024 年 10 月 12 日.
51. 川野洋介, 山岸賢一郎, 細金直文: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP 施行後の長期成績. 第 26 回日本骨粗鬆症学会. 金沢市. 2024 年 10 月 13 日.
52. 佐藤俊輔, 高橋雅人, 里見和彦, 大柰英昭, 竹内拓海, 長谷川淳, 市村正一, 細金直文: 頸椎腫瘍モデルによる頸髄麻痺の進行機序 - 行動学的評価と 3D μ X 線 CT, 組織透明化標本による神経解剖学的検証 -. 第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京, 2024 年 10 月 17 日.
53. 竹内拓海, 高見澤悠平, 陣内快史, 川野洋介, 諸井威彦, 小西一斉, 高橋雅人, 長瀬美樹, 細金直文: 解剖体脊椎を用いた SEPS/DEPS 法と従来法の固定強度の比較 - DEPS 法に最適なスクリー形状は? -. 第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京, 2024 年 10 月 18 日.
54. 小西一斉, 鈴木伸弥, 中島剛, 佐野秀仁, 川野洋介, 諸井威彦, 竹内拓海, 高橋雅人, 大木紫, 細金直文: 二重行動シミュレーション練習と経頭蓋磁気刺激の併用は皮質脊髄路興奮を増大させる. 第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京, 2024 年 10 月 18 日.
55. 高橋雅人, 滝徳宗, 小川潤, 里見和彦, 細金直文: 脊髄モニタリング経頭蓋刺激運動誘発電位の起源と賦活化される経路. 第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京, 2024 年 10 月 18 日.
56. 橘安津子, 河野仁, 中道清広, 渡邊泰伸, 片岡嗣和, 宮本梓, 竹内拓海, 細金直文: 脊椎広範囲固定術後の近位隣接椎間障害予防の工夫 - 有限要素法を用いた肋骨フックの有用性の検証 -. 第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 東京, 2024 年 10 月 18 日.
57. 藤井肇, 坂倉健吾, 佐々木茂: 腱板修復術後再断裂症例の臨床成績に関わる因子の検討. 第 51 回日本肩関節学会. 京都市. 2024 年 10 月 25 日.
58. 坂倉健吾, 藤井肇, 佐々木茂, 細金直文: 広範囲腱断裂に対する Triple row 法を用いた腱板修復術の術後成績. 第 51 回日本肩関節学会. 京都市. 2024 年 10 月 26 日.
59. 竹内拓海, 有馬秀幸, 朝田智之, 出村諭, 土肥透, 松村昭, 大場悠己, 菅原亮, 鈴木悟士, 高橋信治, 上田明希, 大和雄, 渡邊慶, 細金直文: JOANR/JSSR-DB を用いた 2022 年度の成

人脊柱変形手術合併症調査 - 日本側彎症学会による報告 - . 第 58 回日本側弯症学会学術集会. 福岡市. 2024 年 11 月 2 日.

60. 竹内拓海, 高橋雅人, 橘安津子, 中道清広, 渡邊泰伸, 河野仁, 細金直文: 成人脊柱変形手術における術後ロッド長に関する検討 - 術後ロッド長は冠状面変形が強いほど短くなる -. 第 58 回日本側弯症学会学術集会. 福岡市. 2024 年 11 月 2 日.
61. 小谷俊明, 朝田智之, 渡邊慶, 出村諭, 松村昭, 有馬秀幸, 大和雄, 竹内拓海, 高橋真治, 土肥透, 大場悠己, 関庄二, 菅原亮, 鈴木悟士, 上田明希, 細金直文: 思春期特発性側弯症装具治療における装具由来の心理的ストレスとその装具コンプライアンスへの影響. 第 58 回日本側弯症学会学術集会. 福岡市. 2024 年 11 月 2 日.
62. 菅原亮, 出村諭, 小谷俊明, 朝田智之, 松村昭, 渡邊慶, 有馬秀幸, 大和雄, 竹内拓海, 高橋真治, 土肥透, 大場悠己, 関庄二, 鈴木悟士, 上田明希, 細金直文: 思春期特発性側弯症の装具治療における温度ロガー使用効果の検証. 第 58 回日本側弯症学会学術集会. 福岡市. 2024 年 11 月 2 日.
63. 大場悠己, 渡邊慶, 朝田智之, 松村昭, 菅原亮, 高橋真治, 上田明希, 鈴木悟士, 土肥透, 竹内拓海, 有馬秀幸, 大和雄, 出村諭, 細金直文: 思春期特発性側弯症に対する側弯症特異的運動療法の治療効果: 系統的レビュー - 日本側彎症学会による報告 -. 第 58 回日本側弯症学会学術集会. 福岡市. 2024 年 11 月 2 日.
64. 梶原仁斗, 川野洋介, 小西一斉, 諸井威彦, 竹内拓海, 高橋雅人, 細金直文: 脊髄腫瘍摘出手術後に椎体骨折に伴う高度後弯変形を生じ治療に難渋した 1 例. 第 53 回杏林医学会総会. 三鷹市. 2024 年 11 月 17 日.
65. 大島圭介, 稲田成作, 西野雅人, 田島崇, 森井健司, 藤原正親, 柴原純二, 細金直文: CRP が常に陰性であった慢性再発性多発性骨髄炎の 1 例. 第 53 回杏林医学会総会. 三鷹市. 2024 年 11 月 17 日.
66. 諸井威彦, 竹内拓海, 川野洋介, 小西一斉, 高橋雅人, 細金直文: 骨脆弱性椎体骨折に対する DEPS 法およびセメント注入型スクリュー併用した脊椎後方固定術. 第 47 回多摩脊椎・脊髄カンファレンス. 三鷹市. 2024 年 12 月 5 日.
67. 鈴木啓司, 佐藤行紀: AKO を併用した鏡視下 MMPRT 修復術の治療成績 スーチャーアンカー(2 本縫合糸付)法とプルアウト法の比較. 第 2 回日本膝関節学会. 宜野湾市. 2024 年 12 月 6 日.
68. 佐藤行紀, 渡邊隼人, 小谷明弘, 細金直文: Mobile Bearing UKA 術後下肢 alignment および関越面傾斜に関する因子の検討. 第 2 回日本膝関節学会. 宜野湾市. 2024 年 12 月 7 日.
69. 吉田剛, 後迫宏紀, 黒須健太, 今釜史郎, 世木直喜, 川端茂徳, 安藤宗治, 谷口慎一郎, 重松英樹, 岩崎博, 和田簡一郎, 高橋雅人, 山本直也, 船場真裕, 田所伸朗, 山田圭, 中西一義, 藤原靖, 松山幸弘, 竹下克志: 脊髄腫瘍摘出手術における術中脊髄モニタリングの至適アラームポイントモニタリング委員会多施設前向き研究. 第 46 回日本脊髄機能診断学会. 仙台市. 2025 年 2 月 1 日.

70. 船場真裕, 寒竹司, 吉田剛, 後迫宏紀, 川端茂徳, 重松英樹, 高谷恒徳, 山田圭, 和田簡一郎, 高橋雅人, 世木直喜, 安藤宗治, 山本直也, 岩崎博, 田所伸朗, 藤原靖, 中西一義, 今釜史郎, 松山幸弘, 竹下克志: JSSR 多施設前向きデータ 5,120 例からみた頸椎固定術 vs 除圧術の比較 - 麻痺発生率と MEP アラーム精度の検証 -. 第 46 回日本脊髄機能診断学会. 仙台市. 2025 年 2 月 1 日.
71. 後迫宏紀, 吉田剛, 世木直喜, 安藤宗治, 岩崎博, 川端茂徳, 山田圭, 藤原靖, 和田簡一郎, 高橋雅人, 山本直也, 田所伸朗, 重松英樹, 船場真裕, 安田明正, 中西一義, 関庄二, 今釜史郎, 竹下克志, 松山幸弘: 腰椎手術における神経根障害予防を目的とした術中神経モニタリングの実施状況と今後の課題. 第 46 回日本脊髄機能診断学会. 仙台市. 2025 年 2 月 1 日.
72. 森井健司, 岩田慎太郎, 山家健作, 岡本正則, 安藤 厚生, 田中太晶, 西田淳: COVID-19 パンデミック下の骨軟部腫瘍診療体制 - 専門施設への全国調査 -. 第 8 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会. 札幌市. 2025 年 2 月 21 日.
73. 弘實透, 柴山隆宏, 田島崇, 長島文夫, 森井健司, 細金直文: 集学的治療が奏功した骨病変を伴った血管肉腫の 1 例. 第 8 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会. 札幌市. 2025 年 2 月 21 日.
74. 田島崇, 森井健司, 弘實透, 細金直文: CLAP の併用で感染を制御し肺癌の治療を再開し得た肺癌転移性骨腫瘍術後晩期感染の 1 例. 第 8 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会. 札幌市. 2025 年 2 月 21 日.
75. 佐藤行紀, 渡邊隼人, 小谷明弘, 細金直文: Mobile Bearing UKA 術前外反ストレス撮影と術後アライメント変化量との相関. 第 55 回日本人工関節学会. 名古屋市. 2025 年 2 月 22 日.
76. 竹内拓海, 諸井威彦, 川野洋介, 小西一斉, 高橋雅人, 細金直文: (シンポジウム) Whole body alignment を考慮した脊椎手術 (腰椎). 第 65 回関東整形災害外科学会. 東京. 2025 年 3 月 21 日.
77. 梶原仁斗, 川野洋介, 小西一斉, 諸井威彦, 竹内拓海, 高橋雅人, 細金直文: 脊髄腫瘍摘出術後に椎体骨折に伴う高度後弯変形を生じ治療に難渋した 1 例. 第 65 回関東整形災害外科学会. 東京. 2025 年 3 月 21 日.
78. 大島圭介, 稲田成作, 西野雅人, 田島崇, 森井健司, 細金直文: CRP 値が常に陰性であった慢性再発性多発性骨髄炎の 1 例. 第 65 回関東整形災害外科学会. 東京. 2025 年 3 月 22 日.

論文

A. 英語原著論文

1. Mori T, Kobayashi E, Sato Y, Takenaka S, Endo M, Nakamura T, Morii T, Yoshida Y, Ueda T, Kawano H, Kawai A. What Are the Complication Rates and Factors Associated With Total Femur Replacement After Tumor Resection? Findings From the Japanese Musculoskeletal Oncology Group. *Clin Orthop Relat Res.* 2024 Apr 1;482(4):702-712. doi: 10.1097/CORR.0000000000002874. Epub 2023 Oct 5.
2. Sato S, Takahashi M, Satomi K, Ohne H, Takeuchi T, Hasegawa A, Ichimura S, Hosogane N: Unveiling the natural history of paralysis in metastatic cervical spinal tumor: An experimental study. *Brain Spine.* 2024; 4:102842. doi: 10.1016/j.bas.2024.102842. eCollection 2024. PMID: 38868600
3. Osaka M, Kishino T, Shimamori N, Matsushima S, Yamasaki S, Ohtsuka K, Yasudo H, Morii T, Shibahara J, Watanabe T, Ohnishi H. Sonographic findings of malignant peripheral nerve sheath tumors – case series –. *Laboratory Medicine International* 2024. 3 (3), 74-83.
4. Morii T, Ogura K, Sato K, Kawai A: Incidence and risk of surgical site infection/periprosthetic joint infection in tumor endoprosthesis: data from the nationwide bone tumor registry in Japan. *J Orthop Sci.* 2024; 29(4): 1112-1118.
5. Konishi K, Sano H, Kawano Y, Moroi T, Takeuchi T, Takahashi M, Hosogane N: Factors related to surgical site infection in spinal instrumentation surgery: a retrospective study in Japan. *Asian Spine J.* 2024;18(6):822-828. DOI:10.31616/asj.2024.0274.
6. Hirozane T, Hashimoto M, Haque H, Arita Y, Mori T, Asano N, Nakayama R, Morii T, Hosogane N, Matsumoto M, Nakamura M, Jinzaki M: Development of Artificial Intelligence System for Distinguishing Malignant from Benign Soft-Tissue Tumors Using Contrast-Enhanced MR Images. *Oncology* 2024. DOI:10.1159/00052228.
7. Morii T, Sato K, Ogura K, Kawai A: Incidence and risk of infection in malignant soft tissue tumor resection: Data from the nationwide soft tissue tumor registry. *J Orthop Sci.* 2024; 29(5): 1300-1305.
8. Passias PG, Mir JM, Dave P, Smith JS, Lafage R, Gum J, Line BG, Diebo B, Daniels AH, Hamilton DK, Buell TJ, Scheer JK, Eastlack RK, Mullin JP, Mundis GM, Hosogane N, Yagi M, Schoenfeld AJ, Uribe JS, Anand N, Mummaneni PV, Chou D, Klineberg EO, Kebaish KM, Lewis SJ, Gupta MC, Kim HJ, Hart RA, Lenke LG, Ames CP, Shaffrey CI, Schwab FJ, Lafage V, Hostin RA Jr, Bess S, Burton DC; International Spine Study Group. Factors Associated With the Maintenance of Cost-effectiveness at Five Years in Adult Spinal Deformity Corrective Surgery. *Spine (Phila Pa 1976).* 2024 Oct 15; 49(20):1401-1409.

9. Arima H, Yamato Y, Shibata Y, Oba H, Takahashi J, Watanabe K, Sugawara R, Takeshita K, Arai Y, Asada T, Demura S, Doi T, Matsumura A, Suzuki S, Takahashi S, Takeuchi T, Ueda H, Hosogane N. Validation of the Japanese version of the scoliosis research society-30 questionnaire for adult patients with spinal deformity. *J Orthop Sci.* 2024 Nov 25:S0949-2658(24)
10. Passias PG, Tretiakov P, Onafowokan OO, Das A, Lafage R, Smith JS, Line BG, Nayak P, Diebo B, Daniels AH, Gum JL, Hamilton DK, Buell TJ, Soroceanu A, Scheer JK, Eastlack RK, Mullin JP, Schoenfeld AJ, Mundis GM, Hosogane N, Yagi M, Mummaneni PV, Chou D, Fu KM, Than KD, Anand N, Okonkwo DO, Wang MY, Klineberg E, Kebaish KM, Lewis S, Hostin R, Gupta M, Lenke L, Kim HJ, Ames CP, Shaffrey CI, Bess S, Schwab F, Lafage V, Burton D. When is staging complex adult spinal deformity advantageous? Identifying subsets of patients who benefit from staged interventions. *J Neurosurg Spine.* 2024 Nov 22;42(2):185-192.
11. Tsuchiya K, Akisue T, Ehara S, Kawai A, Kawano H, Hiraga H, Hosono A, Hutani H, Morii T, Morioka H, Nishida Y, Oda Y, Ogose A, Shimose S, Yamaguchi T, Yamamoto T, Yoshida M. Japanese orthopaedic association (JOA) clinical practice guidelines on the management of malignant bone tumors - Secondary publication. *J Orthop Sci.* 2025 Jan;30(1):1-17. doi: 10.1016/j.jos.2023.11.007. Epub 2024 Jul 12.
12. Oba H, Watanabe K, Asada T, Matsumura A, Sugawara R, Takahashi S, Ueda H, Suzuki S, Doi T, Takeuchi T, Arima H, Yamato Y, Demura S, Hosogane N. Effects of Physiotherapeutic Scoliosis-Specific Exercise for Adolescent Idiopathic Scoliosis Cobb Angle: A Systematic Review. *Spine Surg Relat Res.* 2024 Dec 10;9(2):120-129.
13. Onafowokan OO, Lafage R, Tretiakov P, Smith JS, Line BG, Diebo BG, Daniels AH, Gum JL, Protopsaltis TS, Hamilton DK, Buell T, Soroceanu A, Scheer J, Eastlack RK, Mullin JP, Mundis G, Hosogane N, Yagi M, Anand N, Okonkwo DO, Wang MY, Klineberg EO, Kebaish KM, Lewis S, Hostin R, Gupta MC, Lenke LG, Kim HJ, Ames CP, Shaffrey CI, Bess S, Schwab FJ, Lafage V, Burton D, Passias PG; International Spine Study Group. Comparative Analysis of Outcomes in Adult Spinal Deformity Patients with Proximal Junctional Kyphosis or Failure Initially Fused to Upper Versus Lower Thoracic Spine. *J Clin Med.* 2024 Dec 18;13(24):7722.
14. Hirozane T, Sekita T, Kobayashi E, Mori T, Asano N, Udaka T, Tajima T, Nakagawa R, Kikuta K, Yoshiyama A, Morioka H, Watanabe I, Anazawa U, Susa M, Horiuchi K, Suzuki Y, Morii T, Nakayama R: Clinical characteristics and outcomes of patients with chondroblastoma undergoing surgery with various adjuvant procedures: a retrospective study of 59 cases. *BMC surg.* 2025 Jan 24;25(1):40. doi: 10.1186/s12893-025-02782-3.
15. Takeuchi T, Takamizawa Y, Jinnai K, Kawano Y, Moroi T, Konishi K, Takahashi M, Nagase M, Hosogane N: Biomechanical comparison of pedicle screw fixation strength between

- traditional trajectory and the single and double endplates penetrating screw trajectories in cadaver spine. *Eur Spine J*. 2025. doi: 10.1007/s00586-025-08799-9. Epub ahead of print. PMID: 40152992.
16. Inanaga S, Shimizu M, Yanagisawa S, Hagiwara K, Kimura M.: Osteochondral Fracture of the Posterior Aspect of Lateral Femoral Condyle Presumably Caused by Tibia Pushing Up Against the Femur-A Case Report *Case Rep Orthop*. 2025 Feb 7;2025:3610324. doi: 10.1155/cro/3610324. eCollection 2025.
 17. Takeuchi T, Arima H, Asada T, Demura S, Doi T, Matsumura A, Oba H, Sugawara R, Suzuki S, Takahashi S, Ueda H, Yamato Y, Watanabe K, Hosogane N: Morbidity and Mortality of Adult Spinal Deformity Surgery Using the Japanese Orthopedic Association National Registry/Japanese Society for Spine Surgery and Related Research Database (JOANR/JSSR-DB), SSRR. 2025; advpub. doi: 10.22603/ssrr.2024-0289. Epub ahead of print.
 18. Hiraga H, Machida R, Kawai A, Kunisada T, Yonemoto T, Endo M, Nishida Y, Nagano A, Ae K, Yoshida S, Asanuma K, Toguchida J, Furuta T, Nakayama R, Akisue T, Hiruma T, Morii T, Nishimura H, Hiraoka K, Takeyama M, Emori M, Tsukushi S, Hatano H, Kawashima H, Isu K, Tanaka K, Kataoka T, Fukuda H, Iwamoto Y, Ozaki T. MAP vs. MAPIF in poor responders to preoperative chemotherapy for newly diagnosed high-grade osteosarcoma (JCOG0905): A multicenter, open-label, randomized phase III trial. *J Clin Oncol* 2025 Jun;43(16):1886-1897. doi: 10.1200/JCO-24-01281. Epub 2025 Mar 26.
 19. Nakamura T, Kobayashi E, Takenaka S, Endo M, Hayashi K, Nakata E, Ohshika S, Kawashima H, Horiuchi K, Nishida Y, Morii T. Predictive variables for intraoperative blood loss and surgical time in resection of malignant soft tissue tumors without reconstruction. *Jpn J Clin Oncol* . 2025 Feb 17;hyaf030. doi: 10.1093/jjco/hyaf030. Online ahead of print.
 20. Hayashi K, Takenaka S, Ohshika S, Kawashima H, Endo M, Kobayashi E, Nakata E, Nakamura T, Horiuchi K, Hamada T, Nishida Y, Morii T. Comparative surgical invasiveness of internal fixation for pathological fractures in metastatic bone disease versus traumatic fractures: a quantitative analysis of operative time and blood loss. *Jpn J Clin Oncol* . 2025 Feb 26;hyaf039. doi: 10.1093/jjco/hyaf039. Online ahead of print.
 21. Morii T, Ogura K, Sato K, Kawai A. Infection of surgery for bone and soft tissue sarcoma with biological reconstruction: Data from the Japanese nationwide bone tumor registry. *J Orthop Sci*. 2025 Mar;30(2):390-396. doi: 10.1016/j.jos.2024.04.006. Epub 2024 May 17.

B. 日本語論文

1. 橘安津子, 河野仁, 赤池侑樹, 高見澤悠平, 中道清広, 渡邊泰伸, 片岡嗣和, 竹内拓海, 細金直文: 肋骨フックは脊椎固定術における近位隣接椎間障害予防に有効か? 有限要素法を用いた検証. *J Spine Res*. 2024 ; 14 巻 (7) : 988-993.

2. 諸井威彦, 佐野秀仁, 小西一斉, 竹内拓海, 高橋雅人, 大木紫, 市村正一 細金直文: タブレット PC を用いた頸髄症に対する新たな上肢の運動機能評価. 脊髄機能診断学 2024 ; 45 巻 : 32-36.
3. 高橋雅人, 後迫宏紀, 和田簡一郎, 船場真裕, 田所伸朗, 中西一義, 重松英樹, 橋本淳, 安田明正, 世木直喜, 中島宏彰, 岩崎博, 山田圭, 山本直也, 寒竹司, 藤原靖, 谷口慎一郎, 安藤宗治, 川端茂徳, 森戸伸治, 黒須健太, 荒川保雄, 高谷恒範, 小林和克, 今釜史郎, 松山幸弘, 吉田剛, 竹下克志: 脊髄モニタリング偽陰性の特徴と要因 - JSSR 脊髄モニタリング委員会 9,572 例の解析 - . 脊髄機能診断学 2024 ; 45 巻 : 76-79.
4. 高橋雅人, 後迫宏紀, 和田簡一郎, 船場真裕, 田所伸朗, 中西一義, 重松英樹, 橋本淳, 安田明正, 世木直喜, 中島宏彰, 岩崎博, 山田圭, 山本直也, 寒竹司, 藤原靖, 谷口慎一郎, 安藤宗治, 川端茂徳, 森戸伸治, 黒須健太, 荒川保雄, 高谷恒範, 小林和克, 今釜史郎, 松山幸弘, 吉田剛, 竹下克志: 脊髄モニタリング偽陰性の特徴と要因 - JSSR 脊髄モニタリング委員会 9,572 例の解析 - . 脊髄機能診断学 2024 ; 45 巻 : 76-79.
5. 高橋雅人, 今釜史郎, 重松英樹, 船場真裕, 後迫宏紀, 中西一義, 町野正明, 谷口慎一郎, 藤原靖, 小林和克, 山本直也, 山田圭, 寒竹司, 岩崎博, 和田簡一郎, 田所伸朗, 安藤圭, 安田明正, 橋本淳, 森戸伸治, 黒須健太, 中島宏彰, 世木直喜, 荒川保雄, 高谷恒範, 川端茂徳, 安藤宗治, 松山幸弘, 竹下克志, 吉田剛: 腰仙椎手術における脊髄モニタリングの有効性 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング委員会 6,196 例の解析. J Spine Res. 2025 ; 16 巻 (1) : 9-16.

C. 総説・解説

1. 有馬秀幸, 相澤俊峰, 池上章太, 石井賢, 井上玄, 今釜史郎, 上田明希, 大鳥精司, 新村千絵, 中川幸洋, 中島宏彰, 藤田順之, 藤田卓仙, 細金直文, 八木満, 山田浩司, 吉井俊貴, 渡邊慶, 種市洋, 筑田博隆, 中村雅也, 松山幸弘, 波呂浩孝, 金村徳相: 【大規模レジストリーによる整形外科リアルワールドエビデンス構築】日本脊椎脊髄病学会データベース (JSSR-DB) の現状と将来への展望. 臨整外 2024 ; 59 巻 (7) : 897-906.
2. 細金直文: 成人脊柱変形の病態と症状. TMA2024 ; 77 巻 (8) : 603-607.
3. 稲田成作: フレイルに早く気づき正しく介入するために. 杏林医会誌 2024;55 巻(4):111-114.
4. Morii T, Tsuchiya H: A Nationwide Survey of Tumor Endoprosthesis Infection in Japan. History and Prospects. MO Journal Europe. 2024: 38-43.
5. Özden VE, Osman WS, Morii T, Pastor JCM, Abdelaal AM, Younis AS: What Percentage of Patients Are Dissatisfied Post-primary Total Hip and Total Knee Arthroplasty? J Arthroplasty. 2025 Feb; 40(2S1):S55-S56. doi: 10.1016/j.arth.2024.10.081. Epub 2024 Oct 20.

6. 森井健司：【これだけは押さえておきたい がん薬物療法の薬 抗がん剤 ホルモン剤 分子標的薬 免疫チェックポイント阻害薬 はや調べノート 2025 2026 年版】従来型 アルキル化薬（そのほか）トラベクテジン. YORi-SOU がんナーシング 2025 春季増刊；274-275.
7. 森井健司，松下和彦，稲葉裕，岡敬之，篠崎智大，立岩俊之，正岡利紀，小西一斉，山田浩司，山本謙吾，市村正一：J-DOS 現状報告. 日骨関節感染会誌 2025；38 巻：1-5.
8. 竹内拓海，細金直文：DISH 患者の脊椎骨折に対する手術の工夫 - Single or Double endplates penetrating screw (SEPS/DEPS) 法 -. 脊椎脊髄ジャーナル 2025；38 巻（2）：91-96.

著 書

1. 竹内拓海：最小侵襲手術における基本的手技 X 線透視下経皮的椎弓根スクリュー挿入法. 新 OS NEXUS No.11 最小侵襲脊椎外科. 佐藤公治編集. メジカルビュー社. 2024. 178-183.

その他

1. 森井健司（受賞）：令和 6 年 JOS (Journal of Orthopaedic Science) Best Paper Award . (Takeshi Morii, Koichi Ogura, Kenji Sato, Akira Kawai. Incidence and risk of surgical site infection/periprosthetic joint infection in tumor endoprosthesis-data from the nationwide bone tumor registry in Japan. J Orthop Sci. 2024 Jul;29(4):1112-1118.)